第2章　燕市の障がいのある人の状況

1　障がい福祉の状況

**（１）障がいのある人の状況**

**①　障害者手帳所持者の状況**

障害者手帳所持者数はほぼ横ばいで推移していますが、総人口が減少しているため、総人口に占める割合は微増傾向にあります。

障害者手帳の種類別にみると、身体障がい者数が減少している一方で、知的障がい者、精神障がい者は増加傾向にあり、特に精神障がい者数は令和２年４月１日現在５８７人となっています。

**■図2-1　総人口に占める障害者手帳所持者の割合**



**■表2-1　総人口に占める障害者手帳所持者総数の推移**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 区分 | 第4期 | 第5期 |
| 平成27年 | 平成28年 | 平成29年 | 平成30年 | 令和元年 | 令和2年 |
| 総人口 | 81,917人 | 81,465人 | 80,909人 | 80,091人 | 79,382人 | 78,933人 |
| 障害者手帳所持者数 | 4,397人 | 4,404人 | 4,424人 | 4,391人 | 4,404人 | 4,432人 |
|  | 身体障害者手帳 | 3,431人 | 3,378人 | 3,354人 | 3,265人 | 3,216人 | 3,197人 |
| 療育手帳 | 572人 | 594人 | 615人 | 622人 | 638人 | 648人 |
| 精神障害者保健福祉手帳 | 394人 | 432人 | 455人 | 504人 | 550人 | 587人 |
| 人口に占める割合 | 5.4％ | 5.4％ | 5.5％ | 5.5％ | 5.5％ | 5.6％ |

資料：住民基本台帳・障害者手帳台帳（各年4月1日現在）

**②　身体障がいのある人の状況**

身体障がいのある人の年齢別の推移をみると、65歳以上の割合が増加しています。

**■図2-2　身体障害者手帳所持者に占める65歳以上の割合**



**■表2-2　身体障がい者の年齢別推移**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 区分 | 第4期 | 第5期 |
| 平成27年 | 平成28年 | 平成29年 | 平成30年 | 令和元年 | 令和2年 |
| 手帳所持者数 | 3,431人 | 3,378人 | 3,354人 | 3,265人 | 3,216人 | 3,197人 |
|  | 18歳未満 | 44人 | 43人 | 40人 | 36人 | 38人 | 37人 |
| 18～64歳 | 893人 | 834人 | 799人 | 784人 | 762人 | 744人 |
| 65歳以上 | 2,494人 | 2,501人 | 2,515人 | 2,445人 | 2,416人 | 2,416人 |
| 65歳以上の割合 | 72.7% | 74.0% | 75.0% | 74.9% | 75.1% | 75.6% |

資料：身体障害者手帳台帳（各年4月1日現在）

障がいの部位別の状況をみると、視覚障がい、音声・言語・そしゃく機能障がいはほぼ横ばいで、内部障がいが増加傾向にあります。

**■表2-3　身体障がい者の障がい部位別の推移**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 区分 | 第4期 | 第5期 |
| 平成27年 | 平成28年 | 平成29年 | 平成30年 | 令和元年 | 令和2年 |
| 手帳所持者数 | 3,431人 | 3,378人 | 3,354人 | 3,265人 | 3,216人 | 3,197人 |
|  | 視覚障がい | 172人 | 170人 | 167人 | 162人 | 171人 | 168人 |
| 聴覚・平衡機能障がい | 333人 | 339人 | 339人 | 322人 | 309人 | 313人 |
| 音声・言語・そしゃく機能障がい | 44人 | 42人 | 44人 | 42人 | 42人 | 43人 |
| 肢体不自由 | 2,170人 | 2,106人 | 2,063人 | 1,993人 | 1,937人 | 1,902人 |
| 内部障がい | 712人 | 721人 | 741人 | 746人 | 757人 | 771人 |

資料：身体障害者手帳台帳（各年4月1日現在）

身体障害者手帳の等級の状況をみると、１級が最も多く、令和２年４月１日現在で９１７人（全体の２８．７％）となっています。

**■表2-4　身体障害者手帳の等級別の推移**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 区分 | 第4期 | 第5期 |
| 平成27年 | 平成28年 | 平成29年 | 平成30年 | 令和元年 | 令和2年 |
| 手帳所持者数 | 3,431人 | 3,378人 | 3,354人 | 3,265人 | 3,216人 | 3,197人 |
|  | 1級 | 921人 | 913人 | 932人 | 912人 | 910人 | 917人 |
| 2級 | 453人 | 455人 | 454人 | 440人 | 437人 | 429人 |
| 3級 | 594人 | 575人 | 566人 | 552人 | 534人 | 529人 |
| 4級 | 838人 | 831人 | 818人 | 800人 | 785人 | 790人 |
| 5級 | 295人 | 280人 | 273人 | 262人 | 266人 | 256人 |
| 6級 | 330人 | 324人 | 311人 | 299人 | 284人 | 276人 |

資料：身体障害者手帳台帳（各年4月1日現在）

等級別に障がいの部位をみると、どの等級でも肢体不自由の割合が高くなっています。

**■図2-3　身体障がい者の障がい部位別の等級の状況**



**■表2-5　身体障がい者の障がい部位別の等級の状況**

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 区分 | 1級 | 2級 | 3級 | 4級 | 5級 | 6級 |
| 視覚障がい | 47人 | 67人 | 9人 | 8人 | 25人 | 12人 |
| 聴覚・平衡機能 | 4人 | 52人 | 26人 | 108人 | 2人 | 121人 |
| 音声・言語・そしゃく | 2人 | 1人 | 24人 | 16人 | 0人 | 0人 |
| 肢体不自由 | 338人 | 298人 | 373人 | 521人 | 229人 | 143人 |
| 内部障がい | 526人 | 11人 | 97人 | 137人 | 0人 | 0人 |
| 合計 | 917人 | 429人 | 529人 | 790人 | 256人 | 276人 |

資料：身体障害者手帳台帳（令和2年4月1日現在）

**③　知的障がいのある人の状況**

療育手帳所持者をみると、Ａ判定（重度）はほぼ横ばいですが、Ｂ判定（中・軽度）は増加傾向にあります。令和２年４月１日現在、Ａ判定が２２４人（34.6％）、Ｂ判定が４２４人（65.4％）となっています。

**■図2-4　療育手帳の判定別の推移**



**■表2-6　療育手帳の判定別の推移**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 区分 | 第4期 | 第5期 |
| 平成27年 | 平成28年 | 平成29年 | 平成30年 | 令和元年 | 令和2年 |
| 手帳所持者数 | 572人 | 594人 | 615人 | 622人 | 638人 | 648人 |
|  | A判定（重度） | 215人 | 217人 | 225人 | 219人 | 224人 | 224人 |
| B判定（中･軽度） | 357人 | 377人 | 390人 | 403人 | 414人 | 424人 |

資料：療育手帳台帳（各年4月1日現在）

療育手帳所持者の６５歳以上の割合は増加傾向にあります。

**■図2-5　療育手帳所持者に占める65歳以上の割合**



**■表2-7　知的障がい者の年齢別推移**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 区分 | 第4期 | 第5期 |
| 平成27年 | 平成28年 | 平成29年 | 平成30年 | 令和元年 | 令和2年 |
| 手帳所持者数 | 572人 | 594人 | 615人 | 622人 | 638人 | 648人 |
|  | 18歳未満 | 104人 | 109人 | 106人 | 110人 | 109人 | 111人 |
| 18～64歳 | 432人 | 444人 | 460人 | 461人 | 472人 | 474人 |
| 65歳以上 | 36人 | 41人 | 49人 | 51人 | 57人 | 63人 |
| 65歳以上の割合 | 6.3% | 6.9% | 8.0% | 8.2% | 8.9% | 9.7% |

資料：療育手帳台帳（各年4月1日現在）

**④　精神障がいのある人及び自立支援医療受給者の状況**

精神障害者保健福祉手帳の所持者数は２級と３級が増加傾向にあります。令和２年４月１日現在、２級が４９７人で８４．７％を占めています。１級は３７人（6.3％）、３級は５３人（9.0％）となっています。

また、精神科または心療内科等に通院している人が利用できる自立支援医療（精神通院医療）の受給者数も増加傾向にあり、令和２年４月１日現在１，３０６人となっています。

**■図2-6　精神障害者保健福祉手帳所持者及び自立支援医療受給者の推移**



**■表2-8　精神障害者保健福祉手帳所持者及び自立支援医療受給者の推移**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 区分 | 第4期 | 第5期 |
| 平成27年 | 平成28年 | 平成29年 | 平成30年 | 令和元年 | 令和2年 |
| 手帳所持者数 | 394人 | 432人 | 455人 | 504人 | 550人 | 587人 |
|  | 1級 | 30人 | 30人 | 38人 | 42人 | 37人 | 37人 |
| 2級 | 319人 | 356人 | 375人 | 420人 | 460人 | 497人 |
| 3級 | 45人 | 46人 | 42人 | 42人 | 53人 | 53人 |
| 自立支援医療 | 1,070人 | 1,125人 | 1,165人 | 1,191人 | 1,240人 | 1,306人 |

資料：精神障害者保健福祉手帳台帳（各年4月1日現在）

精神障害者保健福祉手帳所持者の６５歳以上の割合は、平成２９年からほぼ横ばいとなっています。

**■図2-7　精神障害者保健福祉手帳所持者に占める65歳以上の割合**



**■表2-9　精神障がい者の年齢別推移**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 区分 | 第4期 | 第5期 |
| 平成27年 | 平成28年 | 平成29年 | 平成30年 | 令和元年 | 令和2年 |
| 手帳所持者数 | 394人 | 432人 | 455人 | 504人 | 550人 | 587人 |
|  | 18歳未満 | 4人 | 4人 | 10人 | 9人 | 10人 | 10人 |
| 18～64歳 | 334人 | 371人 | 392人 | 436人 | 479人 | 507人 |
| 65歳以上 | 56人 | 57人 | 53人 | 59人 | 61人 | 70人 |
| 65歳以上の割合 | 14.2% | 13.2% | 11.6% | 11.7% | 11.1% | 11.9% |

資料：精神障害者保健福祉手帳台帳（各年4月1日現在）

**⑤　障害支援区分別の認定者の状況**

障害者総合支援法では、公平な障害福祉サービス利用を実現するために、障害福祉サービスの必要性を明確に判断するための「障害支援区分」を設け、区分１から区分６までの６段階に分けて認定します。区分６が最も支援が必要と認定された人となっています。

障害支援区分認定者数は増加傾向にあります。

**■図2-8　障害支援区分認定者の推移**



**■表2-10　障害支援区分認定者数の推移（実人数）**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 区分 | 第4期 | 第5期 |
| 平成27年 | 平成28年 | 平成29年 | 平成30年 | 令和元年 | 令和2年 |
| 認定者数 | 308人 | 315人 | 334人 | 339人 | 349人 | 348人 |
|  | 区分1 | 35人 | 19人 | 15人 | 13人 | 13人 | 11人 |
| 区分2 | 58人 | 67人 | 74人 | 69人 | 67人 | 69人 |
| 区分3 | 62人 | 52人 | 55人 | 58人 | 64人 | 66人 |
| 区分4 | 49人 | 62人 | 52人 | 51人 | 53人 | 49人 |
| 区分5 | 52人 | 49人 | 60人 | 69人 | 74人 | 73人 |
| 区分6 | 52人 | 66人 | 78人 | 79人 | 78人 | 80人 |

資料：障害福祉サービス台帳（各年4月1日現在）

障がいの種類別にみると、認定者数が最も多いのは知的障がいで１８７人となっています。身体障がいで区分６の割合が高くなっています。

**■表2-11　障がいの種類別の障害支援区分認定者数**

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 区分 | 区分1 | 区分2 | 区分3 | 区分4 | 区分5 | 区分6 | 合計 |
| 身体障がい | 4人 | 8人 | 15人 | 15人 | 25人 | 56人 | 123人 |
| 知的障がい | 4人 | 41人 | 40人 | 32人 | 47人 | 23人 | 187人 |
| 精神障がい | 3人 | 20人 | 11人 | 2人 | 1人 | 1人 | 38人 |

資料：障害福祉サービス台帳（令和2年4月1日現在）

2　アンケート調査の概要

**（１）調査の概要**

**調査目的**

令和３年度を初年度とする「燕市障がい者基本計画・第６期燕市障がい福祉計画・第２期燕市障がい児福祉計画」を策定するため、１８～６４歳の障がいのある人と、１８歳未満の障がいのある子どもを対象としたアンケート調査を実施し、計画の基礎資料としました。

**調査内容**

● 調査月：令和２年７月

● 調査基準日：令和２年６月１日

● 調査対象者：１８歳未満で手帳をお持ちの人、自立支援医療（精神通院医療）、障害福祉サービス等を利用している人

１８歳以上で手帳をお持ちの人、自立支援医療（精神通院医療）、障害福祉サービスを利用している人（65歳未満）

※６５歳以上は介護保険が優先適用のため対象外としました。

● 調査項目：「基本属性」、「障がいの状況」、「相談窓口」、「生活の場」、「外出」、「健康・医療」、「災害」、「就労」、「福祉サービスの利用状況」等

● 回収方法：郵送による配布・回収

**回収結果**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 18歳未満 | 配布部数 | 235件 |
| 回収部数（回収率） | 133件（56.6％） |
| 有効回答数 | 133件 |

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 18～64歳 | 配布部数 | 765件 |
| 回収部数（回収率） | 432件（56.5％） |
| 有効回答数 | 432件 |

**調査結果の見方**

① グラフ中の「n」の数値は、設問への回答者数を表します。

② 回答の比率は、全て小数点以下第２位を四捨五入して算出しました。したがって、回答者比率の合計が100.0％にならない場合があります。

③ 回答の比率（％）は、その設問の回答者数を基数として算出しました。したがって、複数回答の設問については、全ての回答比率の合計が100.0％を超えることがあります。

**（２）アンケート結果の概要**

**① 回答者**

**この調査票の記入方法についてお答えください**

１８歳未満では「ご本人の保護者が記入」が93.2％となっています。

**●18歳未満**

１８～６４歳では「あなたがご自身で記入」が５３．０％、「家族や介助者があなたの意向を汲み取って記入」が３２．２％となっています。

**●18～64歳**

**② 年齢**

**ご本人は何歳ですか**

１８歳未満については、「６～１２歳」の割合が最も高く、４５．１％となっています。

**●18歳未満**

１８～６４歳については、「１８～２９歳」「40～４９歳」「50～５９歳」の割合がいずれも２０％以上となっており、最も高いのは「50～５９歳」の２５．２％となっています。

**●18～64歳**

**③ 性別**

**ご本人の性別はどちらですか**

１８歳未満では「男性」が７１．４％、「女性」が２８．６％となっています。

**●18歳未満**



（95人）

（38人）

１８～６４歳では「男性」が５９．７％、「女性」が３９．８％となっています。

**●18～64歳**



**④ 手帳の種類**

**現在、お持ちの手帳の種類はどれですか（複数回答）**

１８歳未満では「療育手帳」が５４．９％と最も高くなっています。

**●18歳未満**

１８～６４歳では「身体障害者手帳」が４３．５％と最も高くなっています。

**●18～64歳**

**⑤ 難病※９（特定疾患）の認定の有無**

**これまで難病として診断されたことがありますか**

１８歳未満では「はい」は８人（6.0％）となっています。

**●18歳未満**

18～６４歳では「はい」は３８人（8.8％）となっています。

**●18～64歳**

※9 難病…「資料編」116ページにて、用語を解説しています。

**⑥ 高次脳機能障がい※１０の診断の有無**

**高次脳機能障がいとして診断されたことがありますか**

１８歳未満では「はい」は０人（0.0％）、「いいえ」は９７．７％となっています（無回答2.3％）。

**●18歳未満**

１８～６４歳では「はい」は２０人（4.6％）となっています。

**●18～64歳**

※10 高次脳機能障がい…「資料編」113ページにて、用語を解説しています。

**⑦ 発達障がい※１１について**

**発達障がいとして診断されたことがありますか**

１８歳未満では「はい」が５９．４％、「いいえ」が４０．６％となっています。

**●18歳未満**

１８～６４歳では「はい」が２２．５％、「いいえ」が７３．１％となっています。

**●18～64歳**

18歳未満で「はい」（発達障がいと診断されたことがある）と回答した人のみ

**発達障がいとして診断された時のご本人の年齢は何歳でしたか**

「1歳7か月～3歳」が44.3％と最も高くなっています。

※11 発達障がい…「資料編」117ページにて、用語を解説しています。

18歳未満で「はい」（発達障がいと診断されたことがある）と回答した人のみ

**発達障がいの特性に最初に気づいたのは、どなたですか**

「保護者」が５３．２％と最も高くなっています。

（42人）

（15人）

（8人）

（6人）

（5人）

（0人）

（3人）

（0人）

18歳未満で「はい」（発達障がいと診断されたことがある）と回答した人のみ

**発達障がいの特性に気づいた時、専門機関等へ相談しましたか**

「１年以内に相談した」が４８．１％、「１か月以内に相談した」が４３．０％となっています。

**⑧ 暮らしについて**

18～64歳の人のみ

**あなたは現在どのように暮らしていますか**

「家族・親族と暮らしている」が７６．９％と最も高くなっています。

18～64歳の人のみ

**あなたは、本市の福祉等に関する暮らしの「満足度」を上げるためには、どのような支援があればよいと思いますか（複数回答）**

「経済的な負担の軽減」が６０．０％と最も高く、次いで「相談支援の充実」が４７．２％などとなっています。